

平成 27 年 7 月 24 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグジティブ・マネージャー 橘高 公久
電話番号 03-5572-0233

JOGMEC 技術ソリューション事業 (フェーズ 2)

「セラミック膜による随伴水処理技術の小規模実証試験」の受託について

国際石油開発帝石株式会社 (社長: 北村俊昭、以下「INPEX」)、千代田化工建設株式会社 (社長: 澁谷省吾、以下「千代田」)、メタウォーター株式会社 (社長: 木田友康、以下「メタウォーター」) の 3 社 (以下「受託 3 社」) は、独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (以下「JOGMEC」) が実施する、『技術ソリューション事業 (技術開発・実証プロセス) (フェーズ 2) 「セラミック膜による随伴水処理技術の小規模実証試験」』 (以下「国内実証」) にかかる公募に受託 3 社として応募し、今般、国内実証に関する作業を受託しましたので、お知らせいたします。

なお、INPEX が受託 3 社を代表して受託作業にかかる契約を JOGMEC と締結しました。

本国内実証は、およそ 2 年半の期間にわたって、メタウォーターのセラミック膜ろ過システムを用いて INPEX が操業する秋田県八橋 (やばせ) 油田の随伴水を処理する技術を実証するための試験を行うものです。

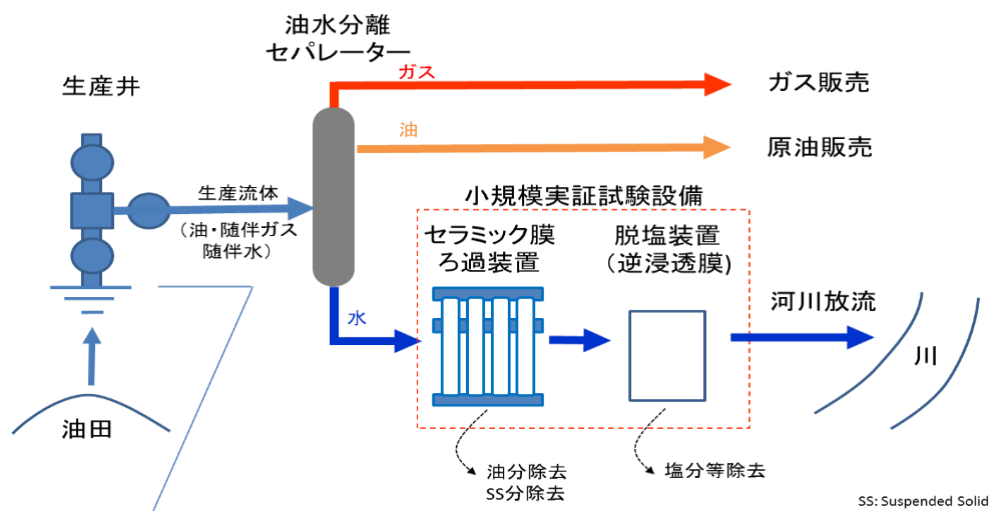
このセラミック膜を用いた随伴水処理技術が確立されれば、原油生産における経済性の向上、油田の延命化並びに環境負荷軽減につながることを期待され、受託 3 社は、本技術を確立させることで、環境に配慮したエネルギーの安定的かつ効率的な供給に貢献してまいります。

記

【国内実証の概要】

件 名 : JOGMEC 平成 27-29 年度技術ソリューション事業 (技術開発・実証プロセス) (フェーズ 2) 「セラミック膜による随伴水処理技術の小規模実証試験」
実施期間 : 契約締結日～平成 30 (2018) 年 1 月 31 日
実施内容 : 油田からの随伴水をメタウォーターのセラミック膜ろ過システムを用いて処理する技術の国内小規模実証試験
実施場所 : INPEX 国内事業本部東日本鉱業所 秋田鉱場 外旭川プラント内及び隣接地 (秋田県)
使用する水 : INPEX が操業する秋田県八橋油田の随伴水
処理水性状 : 秋田県における河川放流基準を満たす

装置能力： 随伴水処理能力 日量 150 キロリットル



小規模実証試験フロー図

【セラミック膜水処理技術概要】

使用する膜： 上下水道施設等で使用されているセラミック膜エレメント（下の写真）



水処理目的： 水に含まれる浮遊物質（SS：Suspended Solid）並びに油分の除去

- 使用実績：
- ① SS分の処理としては、浄水場水処理設備分野において17年以上の使用実績があり、浄水膜としては国内シェアの40%以上を占め、海外においても、オランダ、米国、韓国、ノルウェーなどへの納入実績がある。
 - ② 油分を含む随伴水処理に関しては、平成25-26年度に国内においてベンチ試験（随伴水処理能力 日量約3.6キロリットル）を実施しており、SS分に加え油分の除去においても当初期待した性能を確認している。

以上